

平成28年度、新たに「見守り登録団体」に登録していただいた障害者団体の「障害者団体連絡打合せ会」に参加しました。



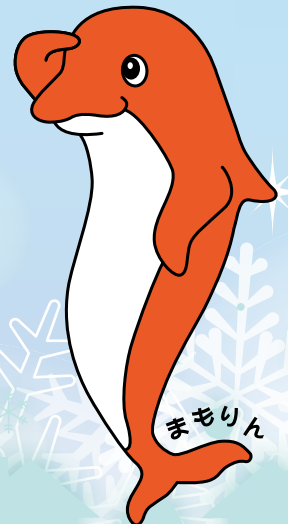
第3回 障害者団体連絡打合せ会

11月16日に開催された障害者団体連絡打ち合わせ会(第3回)に参加し、各団体の代表者の皆さんに、「見守りめぐおっと」における地域での見守りの際のポイントや、気がかりなことの通報先などを改めてご紹介しました。

また、当日は、区内5地区の地域包括支援センターの地域連携コーディネーターが参加し、地域包括支援センター事業の紹介と意見交換を行いました。

参加者から「地域包括支援センターで相談する際に手話通訳で対応してくれますか?」「筆談器はありますか?」などの質問がありました。現在、地域包括支援センターでは手話通訳は常駐していませんが、筆談で対応をしています。より良い対応の方法など、今後さらに検討してまいります。いただいた様々なご意見は、地域包括支援センター業務や見守りの活動に活かしていきたいと思っております。

地域包括支援センターでは、身近な地域の保健・福祉の総合相談窓口として気軽に利用していただけるよう、また、地域の緩やかな見守りの輪を広げ安心して地域で暮らし続けられるよう取り組みを進めてまいります。

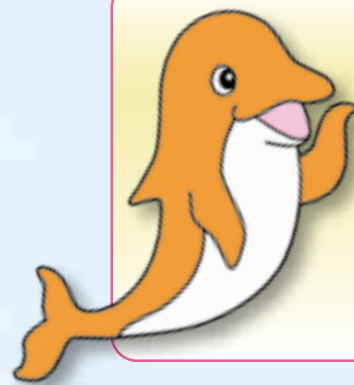
元気で
イルカな?

まもりん

目黒区見守りネットワーク
キャラクター

一支え合いの心で、すべての人に安心なまちを

「見守りの輪」 PR活動について



♡ 見守りネットワーク
(見守りめぐねっと)
♡ 高齢者見守り訪問
♡ 見守りサポーター

**区では、孤立死や虐待を防ぎ、認知症になっても、地域の皆さんと支え合っ
て暮らせるまちを目指して、上記の3つの事業を行っています。**

区内、5地区の地域包括支援センターは、地域の皆様に福祉や介護、健康、医療など、様々な面から支えるための地域の総合相談窓口です。

たとえば、見守り活動を通して地域の気がかりなことについて連絡を受けた場合は、地域包括支援センターの職員が訪問などにより状況確認を行っています。

こうした地域包括支援センターの業務を、より多くの地域のかたに知っていただき、気軽に利用していただけるよう、また、見守り事業を知っていただき見守りの輪が広がるよう、地域に出向いてPR活動をしています。

今回は、西部包括支援センターの「見守りの輪」PR活動をご紹介します。

11月に行われた目黒区町会連合会・平町会の「高齢者の集い」にて、西部包括支援センターの職員により「見守りめぐねっと」について、説明をさせていただきました。

当日は、約30名のかたに参加していただき、地域の皆さんのちょっとした気づきが見守りにつながるため、より多くのかたに、より関心を持ってほしい旨を説明いたしました。

参加者からは「民生委員及び行政を巻き込んで地域の活性化につなげ、皆が安心して生活できる目黒区になればいいですね。」との意見をいただきました。



平町会「高齢者の集い」

平成28年度第2回見守りサポーター養成講座開催

10月31日、めぐろパーシモンホールで、暮らしの保健室室長 あきやままさこ 秋山正子さんを講師にお迎えして見守りサポーター養成講座を開催し、78名の区民の皆様や見守りめぐねっと登録事業者の皆様が受講しました。

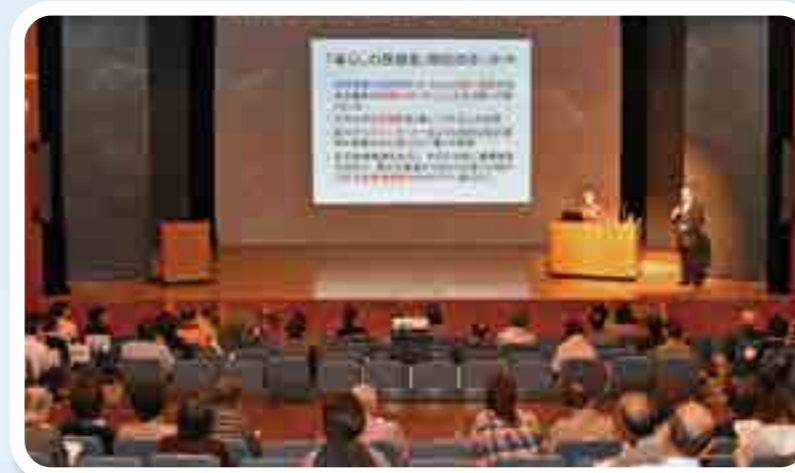
まず初めに、中央包括支援センターの地域連携コーディネーターから、見守りサポーターの役割や見守りの方法、異変への気づきのポイントなどを説明しました。

続いて秋山正子講師から「今日から実践!! 地域の見守り」～都営戸山ハイツ「暮らしの保健室」の実例から～と題して、高齢化率が50%を超える都営戸山ハイツでの「暮らしの保健室」の活動内容を紹介していただきました。訪問看護の実践の中で「もっと気軽に相談できる場所があったらいいのに」という秋山講師の強い思いから始まった活動はメディアでも紹介されていますが、写真やスライドを使いわかりやすく説明していただきました。

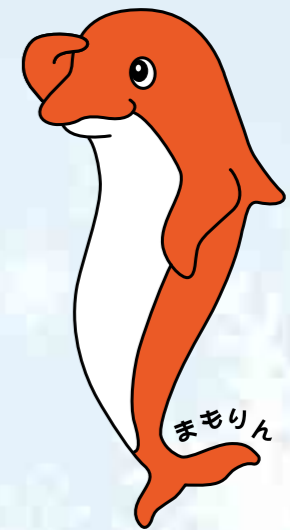
参加者からは「戸山ハイツの実例を聞いて良かった」「目黒区の事例も知りたい」「目黒でも実現できるといい」など多くの感想をいただきました。



秋山 正子 講師



「今日から実践!! 地域の見守り」



見守りサポーターとは？

地域住民をゆるやかに見守り、何か気がかりなことを感じたら、地域包括支援センターに連絡していただくかたのことです。

当講座は、より多くの区民のかたに見守りサポーターを知っていただくこと、また、現在活躍していただいている見守りサポーターの皆様に、理解を深めていただくことを目指して平成26年度から、開催しています。

4月から9月の通報・相談件数は220件

高齢者の見守りや安否確認について各地域包括支援センターに寄せられた通報や相談は、4月～9月の間で220件でした。

通報・相談者の内訳は右のグラフのとおりで、民生・児童委員、近隣住民・知人、家主・マンション管理人、民間事業者を合わせると6割をこえる地域の幅広い方々からの通報・相談がありました。

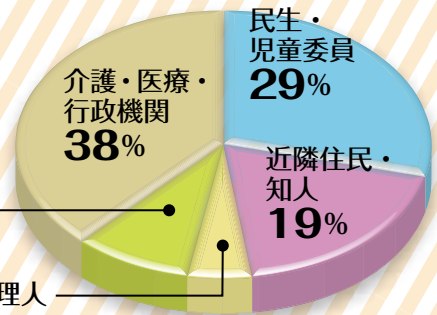
通報・相談で多かったのは、ひとり暮らしや高齢者世帯に関するもの(88件)、安否確認に関するもの(73件)、認知症・精神疾患に関するもの(40件)等でした。また、高齢者虐待に関するものも19件ありました。

※複数に該当する場合はそれぞれに集計



民間事業者
(配達・店舗)
9%

家主・
マンション管理人
5%



振り込め詐欺にはご注意を!!



振り込め詐欺の被害が増加しています。区内では、昨年11月末現在、34件被害額総額約1億円の被害の届け出がありました。最近では、区役所の職員を名乗り、「医療費が還付されます」といって、ATMからお金を入金させる還付金詐欺が発生しています。「ATMでの還付金の返還」これは詐欺です。振り込め詐欺は他人事と思わず、日頃から皆さんで注意しましょう。

詐欺にダマされないための心得3か条

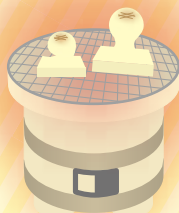
- ①「携帯電話をなくした」「携帯番号が変わった」はオレオレ詐欺と思うべし!
- ②どんな理由でも知らない人には絶対にお金を渡さない!
- ③あわてず、必ず家族や警察に相談!

住宅で起きる一酸化炭素中毒事故に注意!

一酸化炭素は、無色・無臭で気が付きにくい、人体に有毒な気体です。濃度によっては、死に至る危険性があることから、十分な注意が必要です。

事故事例

- ・室内で炭火で暖をとっていて.....
- ・室内で炭で焼き肉をしていて.....
- ・お茶会の炉で.....
- ・調理中に寝てしまい.....



事故防止のポイント

- ・十分な換気を行う
- ・火気設備・器具の定期的な点検と清掃を行う
- ・使用方法を守る
- ・その他
一酸化炭素を感知する警報器を設置することも早期発見に有効です。

(東京消防庁HPから抜粋)

【お詫び】 前号(ねっとわーく通信第13号)の表紙にて、表紙記事の中で朋友会を紹介させていただきましたが、団体名の漢字が間違っておりました。お詫び申し上げます。

安心してご相談ください

- 北部包括支援センター ▶ ☎5428-6891 fax3496-5215
- 東部包括支援センター ▶ ☎5724-8030 fax3715-1076
- 中央包括支援センター ▶ ☎5724-8066 fax5722-9803
- 南部包括支援センター ▶ ☎5724-8033 fax3719-2031
- 西部包括支援センター ▶ ☎5701-7244 fax3723-3432

まもりん今日このごろ

区のホームページで、まもりんの日頃の活動をお知らせしています。

目黒区まもりん今日このごろ

検索

